

# お得な制度のご案内

ご存じですか？

## 協会けんぽ生活習慣病予防 <sup>ふ</sup>付加<sup>か</sup>健診

バス健診で人間ドックに近い内容の検査を受診できます。

とくに『腹部超音波検査』約 50%の方が有所見者になっています。オススメの検査です。  
(2021 年度 当協会実績)

しかも、令和 6 年度より、補助金の対象年齢が拡大！

40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、60 歳、65 歳、70 歳の方が対象です。

さらに、補助金の金額も大幅に増えました！

通常だと追加料金 1 万円程のところ⇒2,689 円に。

**追加で検査してみる方、増えてます**  
**対象の方はこの機会にぜひお申込みください**

裏面に詳しい説明があります

ふか  
【付加健診の検査内容】

項目	検査でわかること	
腹部超音波検査	超音波により、肝臓、胆のう、腎臓の異常の有無を調べます。	
眼底検査	眼底は血管を直接見ることができる唯一の場所です。網膜や細動脈の状態をカメラで撮影し、高血圧性、動脈硬化性などによる血管の変化を調べます。	
肺機能検査	肺活量	息を最大限に吸ってから、吐き出したときの息の最大量です。
	%肺活量	性別、年齢、身長から算出された予測肺活量に対して、あなたの肺活量が何%であるかを調べます。79%以下では肺のふくらみが悪く、間質性肺炎や肺繊維症などが考えられます。
	1秒率	最大に息を吸い込んでから一気に吐き出すとき、最初の1秒間に何%の息を吐きだせるかを調べます。肺の弾力性や気道の閉鎖の程度を示し、基準値以下では肺気腫や慢性気管支炎などが考えられます。
尿沈査	尿蛋白や尿潜血を調べただけでははっきりしない病気の疑いをさらに詳しく調べるために行われます。赤血球は、腎・腎尿路の炎症、結石や腫瘍等があるとみられます。白血球は尿路の炎症等で増加します。上皮・円柱は腎炎等で見られることがあります。	
詳細な血液検査	血小板数	出血を止めるという重要な働きをします。減りすぎても高すぎても出血しやすくなります。
	血液像	体内に細菌や異物が侵入すると、血液中の白血球が増えます。病態によって白血球の種類割合が変化します。画一的判断が難しく、原因や症状、経過を総合して判断されます。
	総蛋白	肝臓や腎臓等に異常が起こった場合、異常値を示します。
	アルブミン	アルブミンは総蛋白の50~70%を占めており、低栄養や消化吸収阻害、肝疾患などで低値を示します。
	総ビリルビン	赤血球が古くなって壊れるときにできる黄色い色素で、処理臓器である肝臓に障害が起こると異常値を示します。
	アミラーゼ	糖類を分解する消化酵素で、膵臓に最も多く含まれ、膵機能障害や腎不全等で増加します。
	LDH	ほとんどの臓器に含まれている酵素ですが、なかでも心筋・肝臓・骨格筋の細胞が破壊されたときには高値を示します。

【補助金の対象者】

全国健康保険協会（協会けんぽ）の被保険者で一般健診を受診する方のうち、令和7年度で40、45、50、55、60、65、70歳になる方

【補助金の対象年齢 早見表】生年月日が当てはまる方は対象です

《40歳》	1985（S60）.4.2 ~ 1986（S61）.4.1
《45歳》	1980（S55）.4.2 ~ 1981（S56）.4.1
《50歳》	1975（S50）.4.2 ~ 1976（S51）.4.1
《55歳》	1970（S45）.4.2 ~ 1971（S46）.4.1
《60歳》	1965（S40）.4.2 ~ 1966（S41）.4.1
《65歳》	1960（S35）.4.2 ~ 1961（S36）.4.1
《70歳》	1955（S30）.4.2 ~ 1956（S31）.4.1

【受診料】通常の健診料金に加えて

- ①対象者の場合 **2,689円**
- ②上記対象者以外で受診する場合 **9,603円**
- ③上記対象者以外で腹部超音波検査のみ受診する場合 **5,700円**
- ④上記対象者以外で眼底検査(両眼)のみ受診する場合 **1,760円** ※料金はすべて税込

【申込方法】

別紙の申込書に○（マル）を記入してください。

- ◆上記①にあてはまる方 ⇒ 「生活習慣病予防 付加健診(協会けんぽ)」の欄へ
- ◆上記②にあてはまる方 ⇒ 「生活習慣病予防 付加健診(健保助成なし)」の欄へ
- ◆上記③にあてはまる方 ⇒ 「腹部超音波のみ(健保助成なし)」の欄へ
- ◆上記④にあてはまる方 ⇒ 「眼底両眼検査のみ(健保助成なし)」の欄へ

※①②をお申込みの方は全ての検査項目を受診頂きます。